昭和五年九月三十日　第二千九百四十四號

思ひ出草

哲村

（10）

古いスクラップブックから

◇

昨紙本欄一平町西河岸町にあつた空地のもの不地拵で代金四十圓に幾ら書でもに改正、平町では間の七日安過ぎるから四十圓の誤解ではないかとの疑念あるも金四十圓に相違ない事を再記する

◇

今の刑務所のもとは不平士族に買へない値段布も買る方で少からず驚いた揚げ句つい押つけられたかと云ふに至つては文字通り開世の感かある

◇

牢屋のあとへ建築した病院の跡またあとへは堂々たる刑務所場が出来たとの事當時除りに時勢より駆けぬけた企てとして間もなく閉鎖の塗炭なき運命に立ち至つた鉄平町は昔から除湿ハイカラな土地であつたと見へる

◇

水論の跡方も無き青田哉

（浪子朗）

頃来の慈雨に石城地方の農村この句の如く平和金く直後す

◇

縣下に於ける事の鑑札は

◇

従来各町村平烙印を捺した公認本欄一平町西河岸町か今回丸い金属四字の番號を捺した縣下同一のものに改正、平町では間の七日以内公認堂わきの空地に町内六百井輛の荷馬車荷ぐるま箱車をあつめてその取つけに忙殺されてゐるが昨正午迄に済んだものが三百七十臺、脱税目的の不参るか様子と係員のはなし

（昭和二、七、九日）

◇

坑夫長屋に對する家屋税の賦課が不當感の違法で、るべき事は縣財政が謂ゆる咽喉からの出る程欲治しても本縣外三縣を除く外には全然課税して居ぬ事實に徴しても大体明白な事でおらうか其處か世が云ふ泣く子に何とやらには勝たれぬたもへ

◇

これで炭礦の態度が他法強げれば結局内務省あたりへ請訓と云ふ形式をとり縣の權威とやらから一時當面の糊塗を試みるであらうがそれで納まらず正式に訴願から訴訟迄やられると「坑夫長屋には課税すべきもの」つまな裁決なりが決なりが下されて當局たるその飛んだ脚を出すことなりはせぬか

◇

これに似たはなしがある今から二十年前許り以前空城縣では當時に於ける戸數割課税の觀念なる「構戸自數」なる原則にかまはず荷物も月收十二圓以上のものからはそのまま宿台帳なるが否とを問はず悉く之れに戸數割を賦課したものだ

◇

而も之れが當時立派な例もあつて行政裁判迄行はれば縣當局がまけるときまつて居るのであるが其處がその日の生計に追はれる階級の悲しさが大それた行政訴訟などに没頭する事が出來すそれが出に謂ゆる黄欲誅求とは知り乍らも殆と血の出る様な金を納めると云ふ仕儀

◇

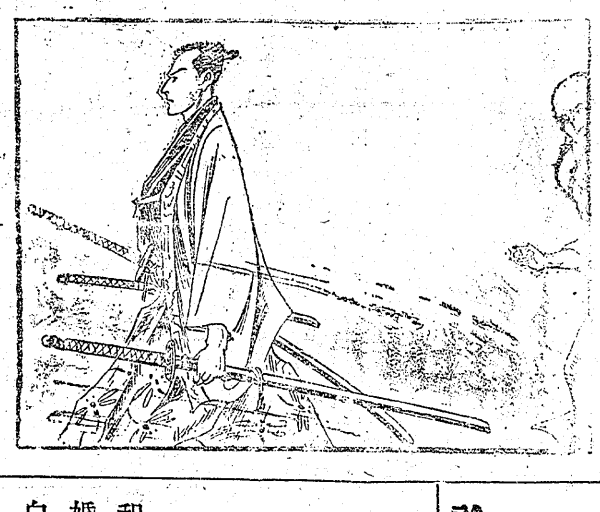
今日の炭礦には煉瓦造りの講堂で税法の講義を聴いた法学士連も居れば永年役所にあつてその方面の指導監督に任じた人もあるから縣當局たるものは空城縣の役がが薄給の下宿住ひをヒネつか様なたやすい事には行るまい（同七、一〇日）

◇

磐城炭礦過般の社員整理を長似た譯でもあるまいが（同七、一二日）

◇

町治の一切は賢明なる我町議員之をよくすでなる調査と從来些か區會議員の肚の理を見ぬいての提案だら案外纏まりが早いわけ郎や」――「へね、何か御用で」――「奥二階の中山様はこの頃に酒の量が減つた様だね、お茶代を一向下さらないから酒でも、どん〳〵飲んで戴いて、其方で埋合さなくては」お茶代が出ぬ筈旅籠料は外の人が懐を痛めてゐるのだから、併しそれが爲めに安兵衛は好



云ては升屋の方から金が出る或日今川橋を通過するあらしを稼ぐことゝ心得てゐる安兵衛はどういふものか此の赤鞘を頗る愛翫しました、出るにも入るにも赤鞘を放しません、それを打込んでは各道場を廻る、普通の道場荒しとは趣きが違ふ普通の道場荒しは、道場の先生を打込み金板看を引

劇と映畫

大菩薩峠に就て

大菩薩峠の第八冊がいよ〳〵出た、年魚市の巻である。

これは甲源一刀流の巻から始まつて、第七冊のオーシャンの巻でそれからしばらく絶されてゐたその續きである。

この年魚市の巻は今まで逆び新聞にも雑誌にも發表されてない全くの書下しであるだけに一層の期待を受けて迎へられることゝ思ふ、『大菩薩峠』と云ふ小説は大衆游戯三昧といふ理想で出てるのだそうである。

小説に出てゐる数――それはたびたびしい人物である、龍之助、宇津木兵馬、米友、道庵、辯信、お銀様等々…その他数へきれない程――。

はてしなく廣い舞臺にこれらの数しれぬ人々を登場させて、そしてそれは永劫に繰いてゆくであらうと思はれる、これらの人々をかぐつておきる様々なことから、様々な人の世の姿――善、悪、愚、愛慾などを添して作者は何を吾々に見せようとするのか……。

いろ〳〵な意味に於て偉大なる小説であると思ふ。

× ×

「大菩薩峠」が劇になつて上演されたら――歌舞伎座九月興行である。この小説。之迄になつてから第二回目である。第一回はたしか二三年前帝劇でやつたはずと思ふ。

今度の上演は先年とはその脚色者やその他大分變居る様に思はれるが――机龍之助はやはり前と同しく守田勘彌である、お豊か森律子、龜蔵の宇津木兵馬等々

劇として上演されが結果は、それほどではなかつたらしい。がどに角、これで絶對に劇化、映畫化せずとしてあつただけに、第一回の時もそうであつたらう今度の上演は一般から相當に注目されてゐることゝ思ふ。

× ×

自分は時々これが映畫になつたらと考へるそうなると監督は伊藤大輔氏としてまづ机龍之助だが、これを見たいと云ふやうなのぞみ、やる様な人は……とすつと持つてゐることをある雑誌で見たことがあつた様に覚えて居るけれども。

伊藤大輔、大河内傳次郎このようなコンビネイションで十両だと云ふ……「六三郎、之れを求めたいが」……「へエ結構で」……「そしてその他の人々を適当白いまでに澄み切つた心切に用ひ、原作を充分に理解しよき脚色者を得て、映畫化して作者は何を吾々に見せようとするのか……。

いろ〳〵な意味に於て偉大なる小説であると思ふ。

× ×

「大菩薩峠」が劇になつて上演されたら――歌舞伎座九月興行である。この小説。之迄になつてから第二回目である。第一回はたしか二三年前帝劇でやつたはずと思ふ。

今度の上演は先年とはその脚色者やその他大分變居る様に思はれるが――机龍之助はやはり前と同しく守田勘彌である、お豊か森律子、龜蔵の宇津木兵馬等々

劇として上演されが結果は、それほどではなかつたらしい。がどに角、これで絶對に劇化、映畫化せずとしてあつただけに、第一回の時もそうであつたらう今度の上演は一般から相

赤鞘安兵衛

東京　桃川燕二演

村田月光畫

（六二）

講談

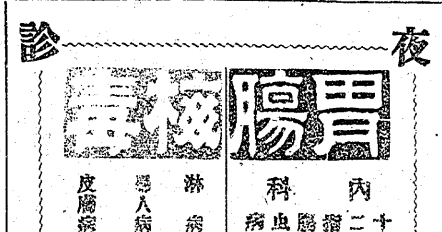
中山安兵衛は又々江戸中を探し始める、然し當野六郎衛門がどうしても見當らない、升屋の女房が『六三郎や』――「へね、何か御用で」――「奥二階の中山様はこの頃に酒の量が減つた様だね、お茶代を一向下さらないから酒でも、どん〳〵飲んで戴いて、其方で埋合さなくては」お茶代が出ぬ筈旅籠料は外の人が懐を痛めてゐるのだから、併しそれが爲めに安兵衛は好

云ては升屋の方から金が出る或日今川橋を通過するあらしを稼ぐことゝ心得てゐる安兵衛はどういふものか此の赤鞘を頗る愛翫しました、出るにも入るにも赤鞘を放しません、それを打込んでは各道場を廻る、普通の道場荒しとは趣きが違ふ普通の道場荒しは、道場の先生を打込み金板看を引

十両金お立替になつては早速稼いで頂かなくては道場

云はなくとも、三度〳〵求めるぞ」……「添なき仕中山安兵衛とは云はず赤鞘がこの頃は相手が用慎して却々オイソレと立會ひをせんで張合がない、大きな道場を探せ、脈と云はぬ様な大きなのをなあ……何處にあるか」

膳の上にチャント徳利が載つて出る「えゝ中山先生」――「何んだ」……「最う、ソロ〳〵出掛けて頂かなくてはせ」……「宜しうございます」……「宜しうございますが、一寸どなたか馬喰町旅籠料の方が」……「あゝ然うか、何時でも出掛ける行二丁目升屋までに出でて下さい、升屋でた拂ひを致しますから」……「宜しうございます、それでは手代を御一緒に差上げますで、此の者へた代を……あ、若し〳〵、代を頂かないうちは門へ金を持つて来ると云ふ段取り、出さへすれば莫大な金になるから、升屋喜兵衛方でも以前とは變つてはは、買ひ方のものだ」安兵衛頓着もなく、赤鞘を持つて大股に行く、手代は汗になつて六三郎を引摺る様に飛ぶ併し元々騙取る最見でない併し稼ぎが荒いから此方でから升屋へ行くと、早速支云はなくとも、三度〳〵拂ひをしてくれます「先生



夜診

胃腸科　内科　十二指腸病　虫病

淋病　梅毒　皮膚病

産婦人科　外科

松村性病科醫院

（平南町電話一〇七番）

療間

電話開設披露

四倉六一番

石島德長

營業所　平町白銀

電話平六五〇番

出張所　四倉町本町東通

電話四倉六一番

新設電話開通

電話六七八番

暑さも遠ざかり涼しき季節となりました。そして御婚禮の時季となりました。皆様ご一ぞ御用命を御願致します。

和洋結髪美顔術
婚禮仕度美爪術
白赤毛染洗髪術

平驛前

水野化粧院

主　水野冬子
大泉キン子

蒲鉾製造開始

弊店儀御得意様各位の御愛顧を蒙り御蔭様にて日々隆盛の域に相向ひ候處是れ偏に皆様の御援助の賜と存じ誠に難有奉深謝候

尚ほ本年は時節柄價格低廉に御用相勉め可申上候間舊に倍し何卒御用の程御願申上候

平町一丁目

蒲鉾折詰仕出し

御慰菜用　薩摩揚　吉原揚

藤寅蒲鉾店

電話一四一番

吉田眼科病院

平町紺屋町

服生學倉黒

今年はウンと安くなりました
型も新らしく裁縫も丈夫に
皆様にホメて頂ける自信ある
冬服を……澤山揃へました

特製品　小學生用　長ずぼんつき　2圓00錢より
特製品　中學生用　3圓00錢より

洋服店　おかや

平二　電203

磐城共濟病院案内

本病院は時局に鑑み八月一日より入院料並に往診料左の通り低減致候間御參考迄申上候

入院料…一日（一般金貳圓　本會員金壹圓五拾錢）

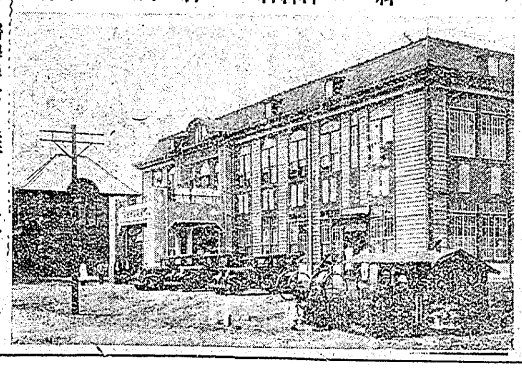
往診料…（院長及其他の一般金參圓　博士に限り本會員金貳圓）（平町内）也

尚地方往診料も之れに準じ低減致候間疑段申添候也

（各科專門醫擔當）

内科　外科　小兒科　皮膚泌尿科　整形外科　内臓外科　産婦人科　女子泌尿科　耳鼻咽喉科　X光線科　物理學的診療科

院長　醫學博士　難波睦
本院主管　賀澤忠治



衛生試驗所
病氣相談所
救療所

救療を申込る〻方は當相談所へ御話し下さい。

共濟病院内

昭和五年九月

磐城共濟會

平町　電話六四一番

看護婦募集

生花教授

家元龍生派池坊

生花、盛花、投入自然

營業では御座いませんから趣味で御相手致し度うございます

平町仲町三（電話六二五番）

華道教授

天水庵　岡田華悦

月曜論壇

失業者の善導

平職業紹介所に於ける失業にして之の種一部の失業者の登錄が倏忽として百數は所謂勞働する能力を有し乍ら勞働の機會を得さかつたものが少くなかつたる者」即ち定義されたる失業者なるものが我が平町にも不幸にして在所に蟄蟄不幸にして憐憫の如くんばたるを最も數字的に物語つて遺憾無く時節柄うたゞ秋風落寞の感無きを得ないものがある、而して永い間の不況に苛まれつゝある憐れむべき之等の失業群が近く起工さるる平上水道の擴張工事によつてパンを與へら工事に至つた事は所謂民にせんとなればまた何を云人の爲に所謂授産的に計劃限に之等の希望を充たし得ざるは勿論の事に屬して格條項に當てはまり時既に之れが遂に洩るるの運命に置かれたであらう事は最少の代償を以てより良き勞働者を得んとする當局の方針(?)から觀てむしろ當然の歸結と見ねばならない果して然りとせばそれ等の人々に對して誠に同情の念に堪へざるものあるが仄聞する處によれば今回登錄を受けたる失業者の内にはその如何にも營養不良らしい相貌から着衣の貧弱な處から或は左右に幼兒を擁した點から觀て以て直に一掬側隠の涙を禁じ得ざるもの蓋し一二にしては止まらなかつたと云ふが其等の中には或は係員の問ひに對し自己の前後を粉飾する爲に曖昧模糊容易にその要點を捕捉し難き答辯をなし係員をしてその筆錄の去就に迷はしめ或は咽喉管の不作法を以てする等苟も重大なる死活の轉機に立つものとして到底認容し難き態度に出でたるもの少くなかつたものゝ如くそは各自の教養から推し深く咎むべきではないとするも之の世智辛き當今の生活戰線に起つ闘士として甚だしく緊張を缺けるは掩ふべからざる事實

平町丈けでも五ケ所に落雷
人畜に死傷なし

昨二十八日午後八時から八時半頃に亘る雷雨は坪當り五一ミリ(九斗三升三合三)と注せられ雨量に於ても決して少いものでなく急激に來たので下水設備の不完全な裏通りの溝ふちは何れも瞬く理に氾濫し停電の闇みを縫ふ雷鳴雷閃の世にも物凄い光景を現出したがこの間にあつて

平譯のサイレン、舊城跡

稲荷神社、南町星眼科院前民家、三丁目佐川洋服店前電柱、紺屋町炭屋旅館事關内喜久次郎の合計五ケ所に落雷したが人畜に死傷なかつた

山田村では

少年が震死

山田村大字上山田靜馬三男佐藤武雄(九)は同夜八時五分頃自宅に落雷した爲め可憐な震死を遂げた

爭覇に血を湧かせた
縣下小學ドッチボール大會
平譯常科は久之濱

高等科は久之濱

石城郡体育研究會主催縣下小學校ドッチボール大會は廿八日午前九時から秋晴れの平第一校庭に於て開催されたが朝來の好天氣にコンデッションが良さそうなに一同勇躍の裡選手一同の入場式、君が代合唱、前年度優勝校の優勝旗返還を石城体育研究會長代理副會長佐藤一民開會の辭新家審判長の審判に關する注意ありて試合を開始したが當日の戰跡は左の如し

(第一回戰)　平第一A組

(廿八)對磐崎尋常(廿四)

其他は全部不戰一勝

(第二回戰)　平第一A組

(廿四)對上遠野(廿一)大野(廿五)對草野(廿一)久之濱(廿二)對平第一B組

(十)小川(十五)對湯本尋高(廿七)

(準決勝戰)　平第一A組對大野、前半平(十一)大野(十一)後半平(十一)大野(十)で延長戰となり第一回延長戰平(十四)大野(十四)　第二回延長戰平(十八)大野(七)

(決勝戰)　久之濱對湯本前半久之濱(十四)湯本(五)後半久之濱(十五)湯本(九)平對久之濱前半平(六)久之濱(十五)後半平(十六)久之濱(十)で久之濱勝

尋常科　第一回戰　平第一B組(卅)對磐崎第一B組(卅)對磐崎尋常(廿四)

(十六)其他は全部不戰一勝

第二回戰　平第一B組(廿四)對草野(廿三)廣野(卅二)對湯本尋常(四)湯定の筈

本尋高(卅)對湯本尋常(十)平第一C組(十六)對平第一B組(廿八)

準決勝戰　平第一B組對廣野、前半平(十一)廣野(十二)後半平(十二)廣野(十三)湯本尋高對平第一B組、前半平(十二)湯本(十一)後半平(十八)湯本(三)

決勝戰　平第一B組對廣野前半平(十九)廣野(二)後半平(十三)廣野(十一)

平第一尋常科は三年間連續優勝して遂に榮ある優勝旗を永久に獲得した尚高等科は惜しくも久之濱に敗れ優勝旗は久之濱校の手に歸し三時終了した

光芒一閃の稲光りで
怪漢を發見逮捕
平荒しの籠脱け詐欺

岩手生れの浮浪青年

平署前を二十八日午後八時頃豪雨を冒し徘徊する男があるとの通報で平署員が怪しみ訊ねると同人は平町四丁目鶴町三丁目呉服商中野康平方の釣錢を詐欺せんとした外去る二十五日午後八時頃同平第三小學校廿九日一時間授業後三年以下男女生徒は飯野小學校附近四年以上男女生徒は大室山へ遠足した六生れ佐藤新吾(三)で前記の釣錢を詐欺せんとした外

大浦尋常高等小學校六日

石城郡産業農事協議會

石城郡産業農事協議會は廿八日午前九時から農會樓上に開催したが出席者は郡農會大山枝師縣農會廣瀬技師小幡技手、其他町村技術員勧業主任等約五十名縣内務部指令事項

一、水田二毛作奨勵に關する件

二、小麥普及蕃殖に關する件

三、推肥增殖の改良に關する件

四、路苗代廢止奨勵に關する件

五、穀物檢査に關する件

聽取事項

一、失業救濟

二、農漁村臨時對策

三、低利資金融通に關する件

協議事項

水田二毛作並に小麥增殖計畫に關する件

(縣農事試驗場提出協議事項)

水田二毛作小麥栽培上特に發展に期する事の協議が出來たと

國調費追加
本日の平町會

平町では二十九日午後一時から町會を招集十月一日執行の國勢調査に要する調査費百圓の追加更正豫算を議した

平湯本間の自動車協定

平湯本間の乘合自動車は各營業者の猛烈な競爭からやがて共倒れの結果を來すでないかを危ぶまれてゐたが今回平、湯本の二ヶ所に共通の發著場を定め各營業者の自動車十六輛が十分毎に發車してその間の統一を期する事の協定が出來た

四倉砂漠踏査

四倉町の墓地境界爭び

四倉町字本町門馬安次郎氏に過般來同町原田海獄者共同墓地内の自己所有墓地にコンクリートの外廓を造つた處同町中町鈴木留吉緒方保男本町山野邊安次、志津鹽田象太郎諸氏の隣接關係者が騒ぎ出し管理者花澤賢有氏から門馬氏に之の旨を通じたがうまく折り合はで去る廿七日鈴木氏、鹽田氏等から四倉人事相談所に願出で紛糾中

運動會一束

大野第一尋常高等小學校第二尋常小學校來月十日

平第三小學校廿九日一時間

飯野小學校附近四年以上男女生徒は大室山へ遠足した

國勢調査の宣傳都々逸

◆國勢調査で調べた事は、國の政治の基礎となる
◆國勢調査で國情が判る、過ふ瀬で判るは主の胸
◆産業合理化失業防止、みんな正しい國調から
◆不景氣風だと何怖からう、正し國調ですぐ凪る
◆強し日本に正しい國調、鬼に金棒鐵の棒
◆九月みそかの真夜中零時、國勢調査の時刻の鐘
◆十月朔日朝飯前に、書いて置きましよ申告書
◆山小屋住居も一つの世帯、國勢調査に漏ぬやう
◆民の爲とて行ふ調べ、嘘が書けやうか申告書
◆偽の一筆をもや恐ろしい、日本の國が暗となる
◆出先都合でみそかにや戻れ、國勢調査に揃ひたい
◆粹をきかした國勢調査、内緣ぢつゝて妻と書く
◆今宵出船で明日沖泊り、申告たのみ櫓にかゝる
◆何を恥ふ御國の爲ぢや、書て出しませ共稼ぎ
◆新世帯名前列べ申告書を眺め、共に微笑む顔と顔
◆野草踏み分ぐ來る主に、早く上げたや此申告書

四倉通話
區域擴張

來月六日から

四倉郵便局の通話區域は左記の通り擴張十月六日から實施する(括弧内は料金)

干住(五五)八王子(七〇)

往原(六〇)前橋(六五)名古屋(長)(一、五〇)水海道(五〇)下總古河(五〇)下總結城(四五)市川(六〇)大阪(一、七五)横濱(六五)栃木(五〇)高崎(七〇)伊勢崎(六〇)久喜(五五)越後長岡(八〇)銚子(七五)勝浦(八五)沼津(九五)取手(五〇)長野(九五)上諏訪(一、〇〇)足利(五五)

四倉通話
來月六日から

四倉郵便局の通話區域は左記の通り擴張十月六日から實施する(括弧内は料金)

干住(五五)八王子(七〇)

往原(六〇)前橋(六五)名古屋(長)(一、五〇)水海道(五〇)下總古河(五〇)下總結城(四五)市川(六〇)

小名濱の港灣修築費に
思ひ切つた大削減を加ふ
明年に迫る縣會改選を前に

一種微妙な影響を豫想さる

大藏省主計局の方針によれば内務省六年度の既定治水事業費二千六一二萬三千圓港灣修築費千九十六萬七千圓總計三千百五十九萬圓に對し治水事業費六百十三萬四千圓港灣修築費三百十七萬圓總計千三十萬圓が節減されることになつてゐるこの結果は明年度全國三十九府縣に亘つて行はれる府縣會の大改選にも微妙な影響を與へるであらうのみならずしかも總延人員總數二百七十五萬人が失業者として勞働市場に追ひやられるのである。どになるので同省では善後策を講究してゐるが失業對策上極力復活要求を試み一部は勞働賃銀の引下げ或ひは地方財政を壓迫しない程度で地方費を繰上げ失業者の續出を防止し萬策盡きれば失業救濟のため財源を公債に求めることもやむを得ない臨國の處置と見られてゐるが之の爲小名濱ノ港灣修築費六年度の豫算六十五萬圓の内十九萬五千圓が節減繰り延べとなつた

末恐ろしい少年
平署に檢擧さる

利雄(二三)假名はさる八月二十五日東京市淺草區森永製菓工場から現金五十三圓同中

遊戯中の少女

馬車に轢かる

平町鎌田町荷馬車輓管本政治(三七)は二十七日午後三時頃平町田町通りで甲カフエー大沼與之吉二女よみ子(四)が道路で遊んでゐる所を左足を轢き全治二箇月を要する大負傷を負はせたので平署で取調べ不良兒で餘罪二十數件あり引續き取調中である

石城民政部會では昨二十八日午後一時から平町南町の(未定)の三名を立て必勝を期する事となつた、一方政友會では

所得稅調査
委員選擧

愈々本舞台に入る

民政派三名を擁立

平町阿部唯次郎、郡北大野村中野幸平、郡南一名十錢平均一圓六十錢總賃數八百五十五貫四百十匁代金一千三百七十一圓である

稅務出張所
平の職員決定

本縣では既報の如く郡廢後の徴稅不振に鑑みこれが圓滑を期するため縣下七ケ所に縣稅務出張所を新設し月一日より實施することになりかねて所長以下所員の詮衡中であつたが一日付を以て左の如く發令することに決定した平出張所の分次の如し

所長　屬　本多角之助

所員　書記　大和田了介

同　同　中川久雄

職岩手縣膽澤郡真城秋成十明徐罪取調中

四倉町
遊戯場
馬車輓管本政治(三七)は二十七日午後三時頃平町田町通りで甲カフエー大沼與之吉二女よみ子(四)が道路で遊んでゐる所を左足を轢き全治二箇月を要する大負傷を負はせたので平署で取調べ不良兒で餘罪二十數件あり引續き取調中である

四倉郵便局
通話區域擴張
來月六日から

四倉郵便局の通話區域は左記の通り擴張十月六日から實施する(括弧内は料金)

干住(五五)八王子(七〇)往原(六〇)前橋(六五)名古屋(長)(一、五〇)水海道(五〇)下總古河(五〇)下總結城(四五)市川(六

平町人事

△出生

平町南町五八東白川郡宮本村山上竹貫田五一鐵道員櫛田進長男節子

明日の吉凶

明日　舊八月廿九日　暦九月十三日

▲一白の人　虚榮は前路に横たはる邪幕除けて一途に進め▲二黑の人　波風なき樣に見へても油斷のならぬ日▲三碧の人　すきを見れば誘惑に乘せられ易し注意せよ▲四綠の人　着實なれば午前より午後と次第〜發展す▲五黄の人　事意の如くならず從つて散財も伴い易し▲六白の人　思はぬ所に手落ちの生ずることあり進むは凶▲七赤の人　それからそれと空想にはしりて實益遠ざかる日▲八白の人　發展を望むより平和を願ふべしうせ物も注意▲九紫の人　自ら卒先してはげむときは圓滿のうちに發展

市場
各地繭市況

四倉　廿八日の相場は最高二圓五錢最低一圓四十二錢馴一圓五十六錢で出廻りは二萬七十貫であつた

女房の捜索願

川部村三澤信太郎妻澤田いち(四〇)は四日平町に行くと稱して家出行衛不明となつたのでこの程平署に捜索願を出

石城郡産業農事協議會

高値一圓八十一錢安値一圓十二錢馴一圓五十六錢で出廻りは二萬七十貫であつた

女房の捜索願

川部村三澤信太郎妻澤田いち(四〇)は四日平町に行くと稱して家出行衛不明となつたのでこの程平署に捜索願を出

國調費追加
本日の平町會

平町では二十九日午後一時から町會を招集十月一日執行の國勢調査に要する調査費百圓の追加更正豫算を議した

平湯本間の自動車協定

平湯本間の乘合自動車は各營業者の猛烈な競爭からやがて共倒れの結果を來すでないかを危ぶまれてゐたが今回平、湯本の二ヶ所に共通の發著場を定め各營業者の自動車十六輛が十分毎に發車してその間の統一を期する事の協定が出來た

四倉砂漠踏査

四倉町の墓地境界爭び

四倉町字本町門馬安次郎氏に過般來同町原田海獄者共同墓地内の自己所有墓地にコンクリートの外廓を造つた處同町中町鈴木留吉緒方保男本町山野邊安次、志津鹽田象太郎諸氏の隣接關係者が騒ぎ出し管理者花澤賢有氏から門馬氏に之の旨を通じたがうまく折り合はで去る廿七日鈴木氏、鹽田氏等から四倉人事相談所に願出で紛糾中

運動會一束

大野第一尋常高等小學校第二尋常小學校來月十日

平第三小學校廿九日一時間

飯野小學校附近四年以上男女生徒は大室山へ遠足した

浪曲港月子
女流

浪曲港月子一行近く來平聚樂館に於て開演の筈

十月一日ヨリ七日間
二十年來の最安値
吳服大賣出し

秋冬物新製品

三井獨特の色調と今秋の最尖端を行く模様もの類、帶地類を初め友禪、小紋、御召等の最優秀品並に銘仙、着尺モス、實用品と豐富に取揃へ最安値を以つて提供致します。

御婚禮花嫁式服

松印　黑小濱縮緬模樣江戸褄…白小濱縮緬下着…唐織丸帶　金百二十圓

竹印　黑縮緬模樣江戸褄…白縮緬下着…糸錦丸帶　金八十圓

梅印　黑縮緬模樣江戸褄…白紋羽二重下着…丸帶　金五十圓

三井の超特價品

錦紗小紋十二圓…本場模樣銘仙三圓八十錢
本場縞銘仙三圓二十錢…本セル三圓八十錢
英ネル六十八錢…ニコニコ大島七十五錢
足袋(白キヤラコ十錢…朱子十八錢…女絹六十五錢
▲各千足限り

フトン縞とフトン線大廉賣

正一貫目　一、六〇　一、八〇　二、二〇
フトン縞　五十五錢より　裏地　五十錢より

平町　三井吳服店　電話三八番　二八四番

毛糸

編物夜除御敎へ致シマス

國産優等毛糸　一オンス　十二錢
國産中細毛糸　一オンス　十四錢
國産極細毛糸　一オンス　十五錢
國産霜降毛糸　一オンス　十八錢

一封度(十六オンス)以上ハ卸値デ差上マス
編物器具類ナラドンナ品デモハシモトヤデ御問と合セ致シマス

平町田町　ハシモトヤ糸店

東都女流浪界之人氣者

天才兒　港月子孃

近日當地某座ニテ公開ス

秋とサロン

サロンの黑ビール

天高く氣朗かに醇味にして芳醇の黑ビールを召せ

サロン　田町電三五番